


セミナー通信

復刊第1号 2012年1月発行



2012年から新しい公開セミナーのシリーズが始まります



公開セミナー
治療技法論
ラカン理論に基づく治療技法の実際

- 日時：2012年 1月14日（土） 13:30～16:30(開場時間も13:30になります)
- 会場：日仏会館（東京・渋谷区恵比寿3-9-25）509号室
- 講師：藤田博史（精神分析医）
- 第1講：「ラカン理論に基づく治療技法の実際（1）」
- 聴講料：1,000円
- ご予約・お問い合わせはユーロクリニック文化部まで
(tel：042-308-7637 E-mail：ys@euroclinique.com)



マップをクリックすると拡大表示
することができます。

☆セミナーの受講者には『受講証』を発行します。

詳しくはこちらをご覧ください。

右上の写真は南仏・サン・ジャン・キャブ・フェラのエフルシ・ド・ロートシルト邸の
ちょっとユニークな日本庭園

日仏会館の場所は、恵比寿駅東口から、「動く歩道」経由で
恵比寿ガーデンプレイス方面、徒歩10分

目次

2012年1月 復刊第1号

セミナー断章 2011年12月の記録より



公開セミナー「心的構造論」シリーズの
最後かつ最新の記録をお届けいたします。

今回は「原点に還る」

「フィクション・身体・情動」

「精神分析と量子力学」

以上のテーマでおおくりいたします。

記事はこちらからどうぞ。

(写真は南仏・サン・ポール・ド・ヴァンスにあるマーグ財団美術館外観)

李禹煥の世界を世界が受容するとき

日本の「もの派」を牽引してきた李禹煥（リー・ウーファン）の展覧会がグッゲンハイム美術館で昨年、開催されました。日本ではほとんどとりあげられなかったこの大回顧展の貴重な展覧会レポートを、李禹煥の作品を長年観続けてきたベルギー在住の清水由美子氏にお願いいたしました。

記事はこちらからどうぞ。

(写真はニューヨーク・グッゲンハイム美術館外観)



テキスト効果 第3回



常時発展途上の実験的エッセイ『テキスト効果』も第3回目をむかえました。

今回のテーマは「擬制としての二者関係について」

『『甘え』の構造』の「甘え」と

「全員一致」の繋がりについて考察します。

記事はこちらからどうぞ。

(写真は、南仏・サン・ジャン・キャブ・フェラのエフルシ・ド・ロートシルト邸)

編集後記

『セミナー通信』復刊第1号はいかがでしたでしょうか。

今月から新しく公開セミナー『治療技法論』が始まります。奮ってご参加いただければ幸いです。

『セミナー通信』来月号は、この治療技法論からピックアップした公開セミナーの最新記録を一部抜粋してお届けする予定です。また予告していました「タイムマシンにおねがい」は、都合により次号から連載を開始いたします。

(写真は南仏・エズのシャトー・ホテルのカフェ・テラスより海を臨む)



PAGE TOP ▲

=====

精神分析医 藤田博史による
公開セミナーの予告と記録
SEMINAIRE OUVERT PERMANENT
janvier 2012

『セミナー通信』Webマガジン版
2012年1月発行 「セミナー通信 復刊第1号 2012年1月号」
発行 ユーロクリニック文化部 EUROCLINIQUE Division Culturelle
編集 ユーロクリニック文化部 榎山裕子
Tel:042-308-7637 E-mail: ys@euroclinique.com

=====

Copyright 2011-2012 EURLCLINIQUE Division Culturelle. All Rights Reserved.